

令和 6 年度  
大阪府堺市保健医療協議会 部会審議概要

救急医療体制調整部会

会議の名称	第1回 大阪府堺市保健医療協議会 救急医療体制調整部会
開催日時等	日時：令和6年9月26日（木） 場所：堺市役所 本館6階 会議室
議 題	1. 救急告示医療機関の新規・更新について 2. 「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」について ①<堺市圏域版>医療機関リストの更新（令和6年度）について ②医療機関リストに掲載する医療機関の拡大について ③医療機関リスト更新要領の修正について ④大阪府「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」の改正について 3. ORION データによる救急搬送指標 4. 堺市消防局における救急搬送の現況 5. 消化管出血（吐下血）補助リストの活用と進捗状況 6. その他
会議の概要	<p><b>議題 1. 救急告示医療機関の新規・更新について（資料 2）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新規なし。</li> <li>●更新は2病院から申請あり。 二次救急告示医療機関：邦和病院、堺咲花病院</li> <li>●大阪府救急告示病院認定基準に照らし、実績評価等による審議の結果、二次救急告示医療機関で2病院が承認された。</li> </ul> <p>（意見等） ○特になし</p> <p><b>議題 2. 「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」について</b></p> <p>①&lt;堺市圏域版&gt;医療機関リストの更新（令和6年度）について（資料3-①、3-②）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●医療機関リストは大阪府実施基準において、毎年、記載内容の変更等を確認・更新することとされており、今年度も救急告示医療機関に照会した。</li> <li>●今年度更新された医療機関リスト（案）は資料のとおりで、承認された。</li> </ul> <p>（意見等） ○特になし</p> <p><b>議題 2. 「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」について</b></p> <p>②医療機関リストに掲載する医療機関の拡大について（資料3-③）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●堺市圏域では非救急告示医療機関（救急告示医療機関以外の医療機関）について、「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」に定める医療機関リスト（第2号）への掲載確認</li> </ul>

を行っていない。

- 実施基準には、医療機関分類の基本枠組み「オ 初期対応医療機関」では「各医療圏の実情に応じて、告示認定されていない診療科目や二次救急告示医療機関以外の医療機関を含めることとする。」と記載されている。
- 堺市圏域でも、医療機関リストに救急告示医療機関以外の医療機関を掲載することについて、承認された。今後、ご意見を踏まえ、どのようなプロセスで医療機関リストに掲載するか検討する。

**(意見等)**

- 対象となる傷病の程度、医療機関リストに掲載する医療機関の判定方法や、診療所へ搬送する時間等、一定の基準を設けるかどうか検討する必要がある。
- 救急告示医療機関は ORION で随時受入可否の状況を入力できるが、非救急告示医療機関は ORION を使用できず、受入可否の状況は随時確認できないことを踏まえておく必要がある。
- 現状、眼科や耳鼻咽喉科等の特殊科目については平日 17 時以降でも救急隊の経験則により搬送し、受入れをいただいている診療所もある。そういった診療所が医療機関リストに掲載されることで、平準化した救急活動に資すると考えられる。

**議題 2. 「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」について**

**③医療機関リスト更新要領の修正について（資料 3-④）**

- 定期更新以外の手続きとして、医療機関からリストの記載内容の変更が必要と申し出がある場合は、救急医療体制調整部会長の承認をもって更新し、救急医療体制調整部会長は、承認後の直近で開催される本協議会へ承認内容を報告することとしていた。
- 救急告示医療機関を想定していた医療機関リスト更新要領について、議題 2. ②が承認され、今後は非救急告示医療機関もリストに新規掲載できることに対応するため、更新要領を修正することについて承認された。更新要領（案）は資料のとおり。

**(意見等)**

- 特になし

**議題 2. 「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」について**

**④大阪府「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」の改正について**

- 大阪府では、平成 22 年 12 月に「大阪府傷病者の搬送及び受入れの実施基準」を策定（平成 26 年 11 月、令和 2 年 12 月に一部改正）し、運用してきた。
- 各地域で行われている検証結果を集約し、府として実施基準の改正の必要性及び改正内容の検討を開始する。令和 9 年 1 月より、新たな実施基準の運用を開始予定。

**(意見等)**

○特になし

### 議題 3. ORION データによる救急搬送指標

- 実施基準適合率は、令和 4 年度は平均 71.8%だったが、令和 5 年度は平均 73.3%となっており、令和 3 年度から上昇傾向にある。
- 搬送困難事例搬送指標は、新型コロナウイルスやインフルエンザの感染症拡大期の夏期と冬期に、搬送困難事例が増加した。また、不搬送件数も、夏期と冬期に現場滞在時間が 30 分以上となる件数が増加した。
- 実施基準医療機関リスト適合率（赤 1、赤 2 傷病対象者）では、緊急度の高い症例について、ORION に従って病院選定され、適合率も高くなっている。

#### (意見等)

○不搬送件数とその理由のうち、「辞退（到着前及び到着後）」が多い。啓発等により、無用な通報を減らすことができれば良いと思う。#7119 の電話相談の周知等をして、需要対策を引き続き取り組む必要があるのではないか。

### 議題 4. 堺市消防局における救急搬送の現況

- 救急出動件数は、令和 5 年に過去最多の 70,741 件となった。
- 傷病程度別搬送割合は、軽症率が全国に比べて高い。
- 応需率は、令和 5 年度は受入上位 5 病院が全体の 65%を受入れている。

#### (質問)

○搬送件数は増えているが、職員数や人員体制は変わったのか。

#### (委員回答)

○正確な数字は持ち合わせていないが、職員数は特に変わらないため、人員体制を見直し、必要な部署に職員を配置している状況。救急搬送の増加に対し、令和 5 年 10 月に 1 隊増加し、現在 26 隊体制で稼働しているが、令和 6 年 10 月にも 1 隊増加する予定。

### 議題 5. 消化管出血（吐下血）補助リストの活用と進捗状況

- 消化管出血（吐下血）の搬送状況については、令和 4 年に応需率が低くなっていたことから、堺市内の 7 つの医療機関に協力いただき、消化管出血（吐下血）の対応可否についての補助リストを作成し、令和 5 年 4 月から運用を開始した。
- 令和 5 年 8 月から 1 年間の運用結果では、平均問合回数が全症例と比較しても落ち着いており、平均問合回数は 2 回を下回っている状況。
- 今後も運用を継続するか、消防局としての意見をまとめてもらいたい。

**(意見等)**

- コロナ禍では内視鏡検査をするという点で消化管出血の応需が難しかったが、コロナが落ち着いており、コロナ禍とは状況は異なるのではないかと考える。
- 医療機関としては、消化器内科医を24時間365日待機させるのは難しい。補助リストという形ではなくとも、輪番制という形で医療機関同士協力していくのが良いと考える。

**議題6. その他**

- 特になし